

# 国語科模擬授業会学習指導案

実施日：12月21日

第3学年 『サーカスのライオン』

## 1 単元名

各場面の中心人物の心情を考えながら読み取ろう。

## 2 本時（第2次・第6時）の目標

絵や登場人物のセリフがない本文を読んで、場面の様子を具体的に想像できる。

## 3 本時の展開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1. 前時の目当てを確認する。	前は離れたところにある物事の事情や考えを結び付けて、登場人物の心情を想像したことを確認する。	
2. 本時のめあてを確認する。		
本文を読んで場面の様子を思いうかべよう。		
3. じんぎの気持ちを考えて本文プリントにじんぎのセリフを4か所以上書き加える 「～もう何にも見えない。」まで	本文プリントを配る 書き加えたい箇所に印をつけて書くようスクリーンを使ってモデルを示す。 教師が本文をゆっくり読んでいる間に印をし、その後セリフを書き込ませる。  机間指導でどうしてそう思ったのか、男の子はじんぎにとってどんな存在なのか、これってどんな様子なのかを考えさせる。	場面の様子を想像し、じんぎの心情をじんぎの立場になって考えることができている。 (本文プリント・発表)
4. 2人ペアになり、自分の本文プリントを相手に見せ、自分はじんぎ役、相手にその他の文を読む役をしてもらう。	児童に一人前に出てもらい、ペア活動のモデルを示す。教師が他の文を読み、児童に自分の書き加えた文を読んでもらう。 (スクリーンに映す)  ☆読む時のポイント ・声のトーンや速さ(切羽詰まってるのか、怖くて仕方ないのか) ・どんなふうにウォーッと叫んだのか	

	(怖くて泣き叫んでるのか、助けを呼ぶために叫んでるのか)
5. クラスで発表 (2~3 ペア)	机間指導で見つけた、場面をよく想像できている児童を指名して前に出て発表してもらおう。(スクリーンに映す) なぜそう考えたかを発表者に聞いて全体で共有する。  他の児童の意見でよいと思ったものを色ペンで書き込ませる。
6. 本文プリントの裏ページを全員で読む(「見上げる人が～」から最後まで)	
7. 「どこにもなかった。」の後にじんざの最後のセリフを考えて、本文プリントに書き込む。	近くの人と相談して良いことにする。
8. クラスで発表 (4人程)	教師が本文を読み、その後に4人続けて発表してもらおう。
9. 振り返り	本文プリントの評価欄に場面の様子をどのくらい読み取れたかを5段階で自己評価させる。
10. 次回、じんざになりきって男の子に手紙を書くことを伝える。	

◎「おおむね満足できる」状況 (B) と判断する生徒の姿の例